

平成24年度 学内教育GPプログラム事業経費計画書 (継続型)

学 長 殿

申請者 (プログラム代表者名)
氏名 三浦 徹 印

(部局長等の承認)

私は下記の申請について了承します
機構長 耳塚 寛明 印

事業名称	出る杭を育てる：タイアップ・キャリアセミナー
取組代表者名 担当者名	三浦 徹 永瀬 伸子 最上 善広
事業内容	<p>学生支援 GP「出る杭を育てる：企業で女性が輝くための学生支援」(20-23年度)において実施した「タイアップ・キャリアセミナー」を継続し、企業で活躍し起業する女性リーダーを育成する。当該 GP 事業では、外部講師 (企業のトップ、起業家など) を講師とする合宿形式のセミナーを、3 回実施してきた (参加者は学部・大学院博士前期学生約 20 名)。これに参加した学生は就職活動で成果をあげ、4 年次 (博士前期 2 年次) には先輩の就活支援やセミナーの運営に参画している。とくに 23 年度は、こうした学生によってお茶大マーケティング (ビジネス・プラン) 研究グループ (略称お茶ビス) が結成され、「学生によるマーケティング講座」を実施し (4 回)、タイアップ・キャリアセミナーは、学生 4 グループによるビジネス・プランの発表と評価・反省を主軸とした。</p> <p>本事業は、出る杭 GP 事業のうち、タイアップ・キャリアセミナーを中心とし、上記学生サークルと連携して、学生の主体的なキャリアアップ事業を展開する。具体的には、①マーケティング (ビジネス・プラン) 講座と②タイアップ・キャリアセミナーを実施する。これを企画・運営するアカデミック・アシスタントをおき、学生サークルと連携して、運営にあたる。なお、セミナー実施には、別途経費 (講師謝金・会場費など) が必要となるが、これについては教育機構からの支弁の検討をお願いしている。</p>
事業期間終了後の計画	3 年間の事業期間のうちに、学生サークルを学部学年横断型の組織として基盤を固め、ビジネス・プラン講座やタイアップ・キャリアセミナーのノウハウを蓄積する。事業期間終了前に、成果測定を行ったうえで、恒常的な学生支援プログラムに移行する。また、教育 GP や特別経費など外部資金獲得のチャンスがあれば、本事業の成果を基礎として「出る杭 Part 2」事業案を作成し応募する。
積算内訳	<p>1 件、50 万円以内</p> <p>・アカデミック・アシスタント</p> <p>{@1,200 円×8h (週 2 回) ×4 週 (1 ヶ月) +3,000 円 (交通費)} ×12 ヶ月</p> <p>=496,800 円</p>

【提出先】

教務チーム 千葉 (内線 5738)

E-mail: TL-kyoumu@cc.ocha.ac.jp